学校番号	３０２０

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	表現力育成ゼミ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	第一学習者『論理力ワークノート』						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・目的に応じた効果的な表現ができるようになるためには、とにかく文章をたくさん作ってみることが大切です。自分の考えや意見を表現するのが最初は苦手でも、演習を繰り返していくうちに少しずつ上手になっていきます。「書く」だけでなく「話す・聞く」「読む」ことを小論文、スピーチ等の様々な課題を通して行い、表現力を磨いていきましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
　実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
　論理的に考える力や深く共感する力を伸ばし、実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
　言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・正確な文章を書くために必要な文法知識が身についている。 ・正しく理解し使うことができる言葉の数を増やしている。	・読み手に伝わるよう正確で簡潔な文を書いている。 ・筆者の意図や段落構成を意識しながら、文章が読める。 ・段落構成を工夫して文章を書いている。 ・発問の意図や図表が示している傾向をつかむことができる。	・日本語の特徴を学ぼうとする意欲がある。 ・様々な見方がある中から、論を展開するのに有効な見方を選ぼうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	話し方 自己紹介、自己 PR	a:語句や文法を正しく理解して発表に取り入れている。 b[話/聞]:相手や目的に応じた話し方ができている。 c:他者の発表を聞いて良い部分を取り入れようとしている。	小テスト	発表	観察 レポート
	作文 原稿用紙の使い方、エッセイ	a:原稿用紙のルールを守っている。 b[書]:読み手を意識して文章が書けている。 c:日本語の表記の仕方を理解しようとしている。	小テスト 定期考査	発表	観察 レポート
	読解・記述 [教材]問題集1～4 要約、具体と抽象	a:キーワードを用いた要約が書ける。 b[書]:書く相手や目的を意識できている。 c:意欲的に要約しようとしている。	小テスト	定期考査	レポート
二学期	考えを聞く プレゼンテーション、スピーチ	a:話し手の目的や主張の根拠を意識して聞けている。 b[話/聞]:発表を聞くときのポイントをおさえて聞けている。 c:聞き手を意識し、意欲的にスピーチしようとしている。	定期考査	発表	観察 レポート
	小論文 三段落の意見文、ブレインストーミング	a:論文の形式を理解することができている。 b[書]:段落構成を工夫して文章が書けている。 c:他者の意見を自分の意見に生かそうとしている。	定期考査	定期考査	観察 レポート
	読解・記述 [教材]問題集5～8 原因・結果、主張・理由・具体例	a:根拠の重要性を理解できている。 b[読]:文章中の主張・理由・具体例を見極めることができる。 c:根拠に支えられた主張をしようとしている。	小テスト 定期考査	定期考査	レポート
三学期	話し合う ディベート	a:ディベートの流れを理解できている。 b[話/聞]:お互いの意見を尊重しながら話し合いを組み立てることができる。 c:話し合うことへの意欲・関心を持つことができている。	小テスト 定期考査	発表	観察
	読解・記述 [教材]問題集9～11 譲歩表現、演繹・帰納	a:演繹法・帰納法について理解できている。 b[読]:演繹・帰納が用いられた文章の論展開を明らかにして読めている。 c:難解な文章でも意欲的に読もうとしている。	定期考査	発表	レポート

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　２０　）時間

・書くこと　…　（　２５　）時間

・読むこと　…　（　１５　）時間